

成果指標				
成果指標	管理費等執行状況			
指標設定の考え方	利用効果については施設利用者数(入込客数等)によるが、管理運営については指定管理者制度によるところが大半を占めるため、予算執行状況とした。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	6,072千円	6,343千円	6,078千円	0
実績	6,033千円	6,142千円	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	2	D
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	2	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市内観光施設との連携及び更なるPRに努め、利用拡大を図る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	2	D
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	2	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本公園を活用したイベントも年間限られているために、今後は「花の森ホテル」や「遊栗館」との連携を密に、市内外から気軽に訪ねてもらえるような魅力づくりを行い、施設の有効利活用を増やさなければならない。栗の里公園として果たすべき機能を明確化し、利用対象者(ターゲット)を絞ることも検討すべきであろう。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

運営状況を注視するとともに、指定管理のあるべき姿を常に検討すること。